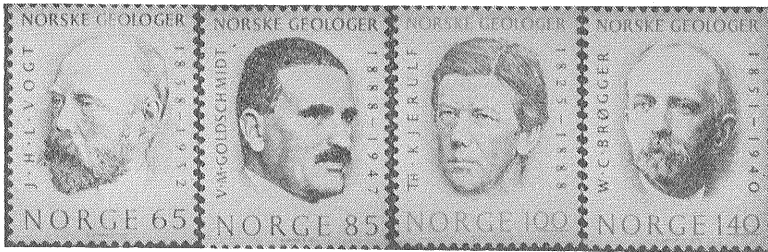


砷硫銅鉄鉱	エピゲナイト	epigenite	脆沥青	グラハム石	grahamite
砷硫錒銅銀鉱	ピアーセアイト	earceite	脆銀鉱	脆安銀鉱	stephanite
砷錒鉱	アレモン石	allemontite	脆緑泥石	脆緑泥石	corundophilite
砷錒鉄	アーマンジャイト	armangite	脆硫砒鉛	サルトリウス石	sartorite
砷錒鈣石	ブランド石	brandtite	脆硫銅砒鉛	クラプロス石	klaprothite, klaprotholite
砷錒鉛	カリナイト	caryininite	脆硫錒鉛	異形石	毛砒 heteromorphite, jamesonite
砷鎂石	フェルネス石	hornesite, hoernesite	脆硫錒銅	ファマチナイト	famatinitite
砷酸砒	アテレスタイト	atelestite	膠黄鉄	メルニコフ砒	melnikovite
砷鎳	砒ニッケル砒	マウチェル砒 chloanthite, maucherite	膠砒	膠状石	collophane, collophanite
砷鎳鉄	チャトハム石	chathamite	脂光石	脂光石	elaeolite
砷鋳銅	砒四面銅	tennantite	脂光蛇紋石	ピメライト	pimelite
莫砒鉛	モーダー石	modderite	脂鉛砒	グンマイト	gummite
			脂砒鉛砒	マイトラングイト	ニユレイト トログンマイト maitlandite, nicolayite, thorogummite
【ノ】			脂磷鈣石	メタブルッシュ石	metabrushite
倍長石	亜灰長石	bytownite	臭葱石	葱臭石	scorodite
脆雲母	脆雲母	clintonite	鉀冰晶石	エルパソ石	elpasolite (つづく)



ノルウエー地質学者の切手

P. Q.

1975年 ノルウエーで地質学者と題して1度に4種の切手が発行された。世界でも初めてである。うち2人は日本でもよく知られている。

65: フォークト Johan Herman Lie Voegt (1958-1932) 1886年クリスチニア大学冶金学の教授 スラグの鉱物学的研究から火成岩の結晶作用の研究に入り 20世紀初頭における世界岩石学の指導者だった。

85: ゴールドシュミット Victor Moritz Goldschmidt (1888-1947) 1911年にクリスチニア地方の接触変成作用の研究によって岩石学に一時代を画した。1914年に後述のブレツガーの後任としてクリスチニア大学の結晶学・鉱物学・岩石学の教授。その後地球化学・結晶化学の研究をはじめ オス

ローの彼の研究室は世界の地球化学の中心となった。

100: ヒエルルフ Theodor KJERULF (1825-1888) ノルウエー初期の地質学者。変成岩を研究して ノルウエーで初めて岩石の顕微鏡記載を行った。1858年に DAHL と共にスカンジナビア最初の地質調査所をクリスチニアに作り 100万分の1ノルウエー地質図とその説明書を出した。1858年から88年の死ぬまで大学の教授でもあった。

140: ブレツガー Waldemar Christofer BRØGGER (1851-1940) 最初第四紀堆積物 化石 考古学の研究をしていたがその後オスログラベンアルカリ岩の研究を行い オスロフィヨルド入口にある Løvn というペグマタイトから出来た小さい島で Aegirine をはじめとするたくさんのアルカリ鉱物を記載した (Aegir は北欧神話に出る海の女神)。ストックホルム大学教授から1890年にオスロ大学教授になり 1913年頃有名な地質博物館を建てた。彼はアルカリ岩の成因論に著名で 門下からゴールドシュミット パートなど優れた岩石学者地球化学者が輩出した。

彼は長い間アカデミー会員で国会議員でもあり ナンセンのフラム号探検の後援者としても著名であった。彼は Løvn 島を私有していて他の岩石学者のこの島に入ることを許さず 死後は大学に寄贈した。今でもこの島に行くには大学の許可を必要とし 島には腕位の太さのエジリン輝石がネフェリンサイヤナイトペグマタイトの中につ立っているという。

(後二者については 在ノルウエー太田昌秀氏の御教示による)